

グラフで見る関西経済 (2018年12月)

2018年12月27日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ～関西経済は緩やかに持ち直している

項目	現状（12月）	前月
1. 景気全般	緩やかに持ち直している	－
2. 生産	横ばい圏で推移している	－
3. 輸出	横ばい	－
4. 輸入	横ばい	－
5. 設備投資	増加している	－
6. 雇用	改善している	－
7. 賃金	緩やかに持ち直している	－
8. 個人消費	持ち直しの動きが見られる	－
9. 住宅投資	横ばい圏で推移している	－
10. 公共投資	減少している	－

【今月のポイント】

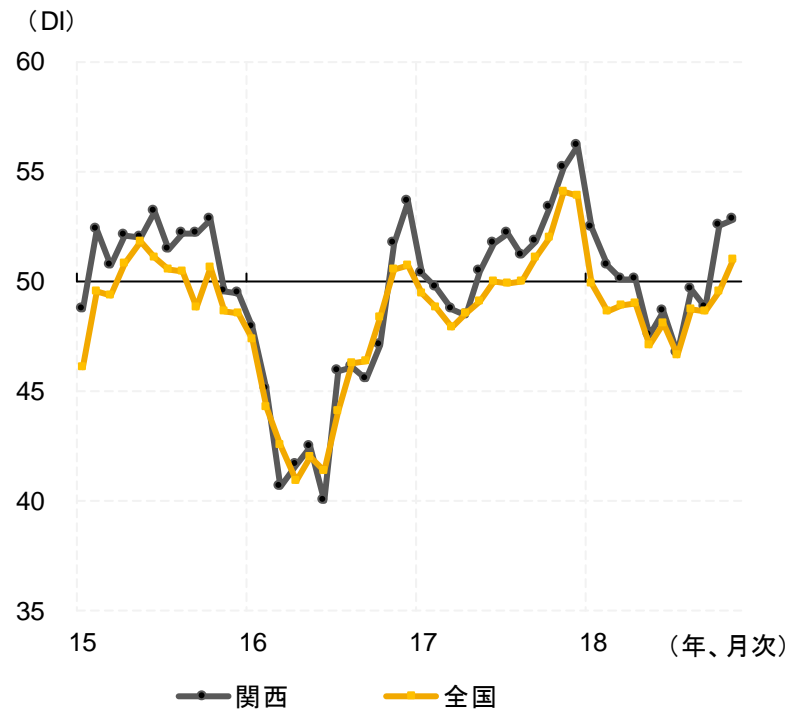
- 生産、輸出などこれまで経済をけん引してきた企業部門の動きに一服感が見られる。
- 一方、個人消費など家計部門では、引き続き持ち直しの動きが見られる。
- 通商問題等、企業部門の先行きに不透明感がただよう中、所得環境の改善による家計部門の下支えがカギに。

1. 景気全般

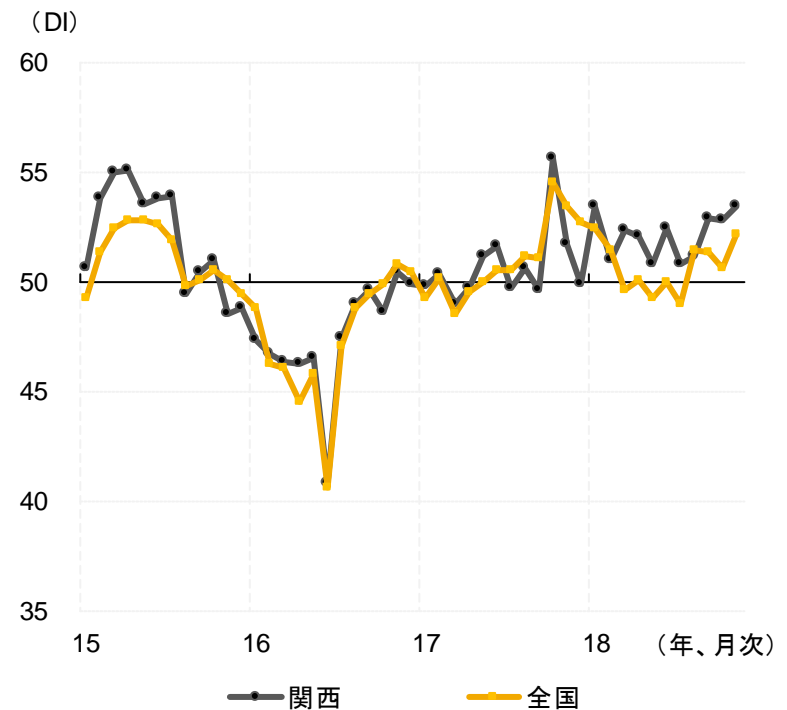
■ 景気ウォッチャー調査

- 景気ウォッチャー調査によると、11月の関西の現状判断DI(季節調整値)は前月差+0.3ポイントの52.8と2ヶ月連続で上昇した。インバウンド消費の復調などがマインドの改善につながった。先行き判断DI(季節調整値)も、同+0.6ポイントの53.4と2ヶ月ぶりに上昇した。

現状判断DI



先行き判断DI



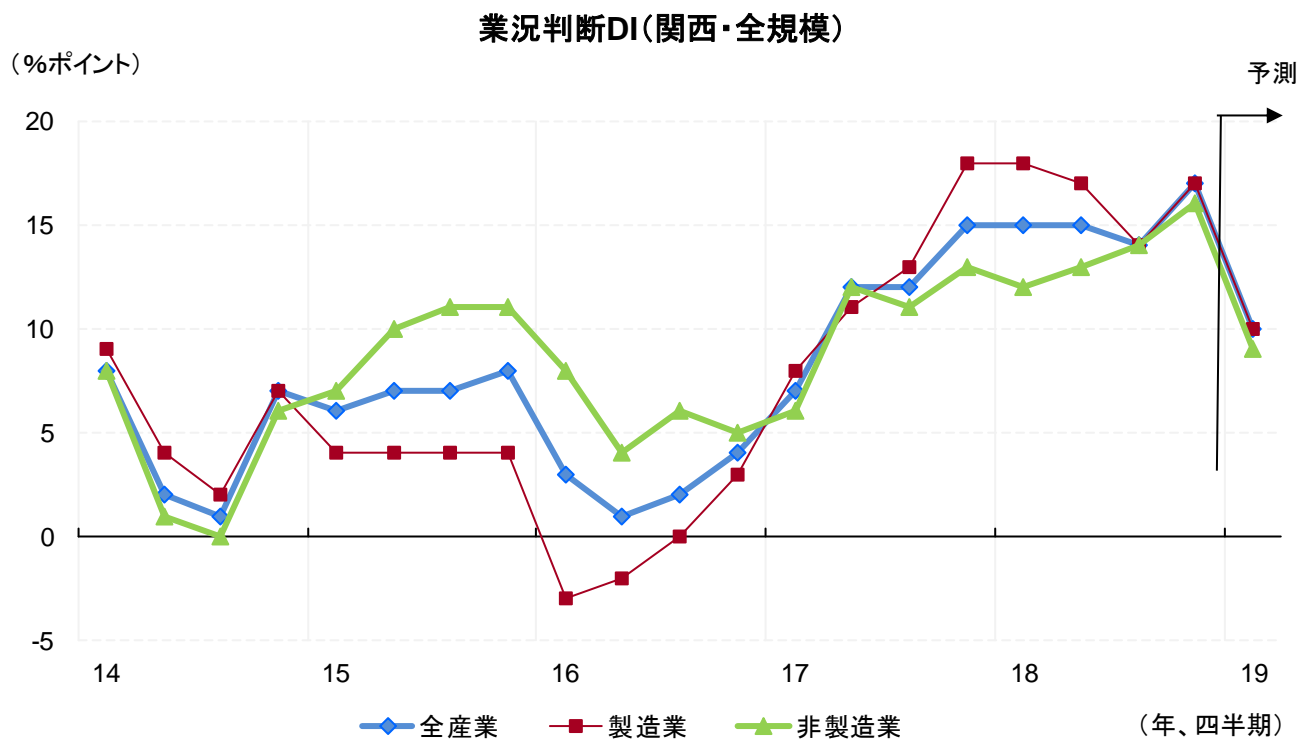
(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

(注) DIは季節調整値

1. 景気全般

■ 日銀短観12月調査

- 関西企業の景況感について日銀短観12月調査を見ると、業況判断DIは全産業(全規模)で+17と前回9月調査より3ポイント改善した。製造業(全規模)は+17と9月調査より3ポイント改善し、非製造業(全規模)も+16と2ポイント改善した。先行きについては、全産業、製造業、非製造業共に悪化が見込まれている。



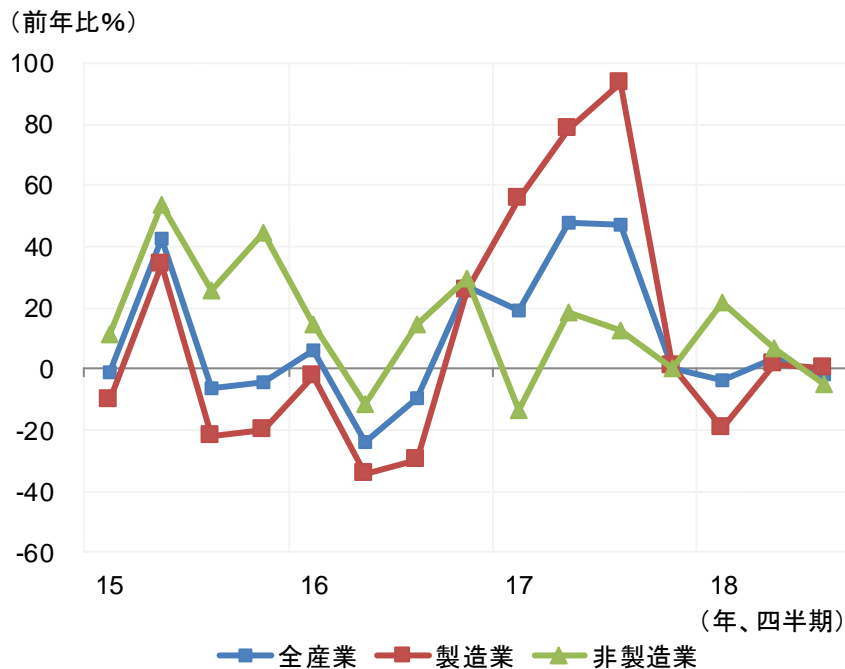
(出所) 日本銀行大阪支店「企業短期経済観測調査(近畿地区)」

1. 景気全般

■ 法人企業統計調査、日銀短観

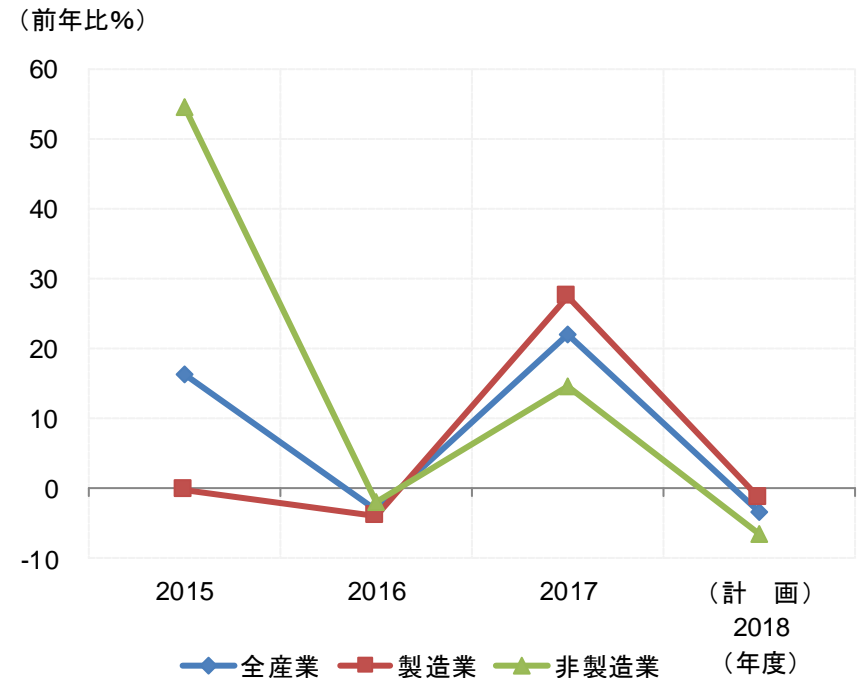
- 関西企業の収益動向について法人企業統計を見ると、2018年7～9月期の大企業の**経常利益**(全産業)は、前年比-2.0%と2四半期ぶりに減少した。製造業が同+0.2%と2四半期連続で増加したが、非製造業が同-4.8%と6四半期ぶりに減少した。**日銀短観12月調査**では、18年度は全産業で同一-3.3%、製造業で同一-1.2%、非製造業で同一-6.6%と計画されている(9月調査から上方修正)。

関西の大企業の経常利益(法人企業統計)



(出所) 近畿財務局「法人企業統計調査」
 (注) 資本金10億円以上の法人(除く金融・保険)

関西企業の経常利益(日銀短観)



(出所) 日本銀行大阪支店「短観」

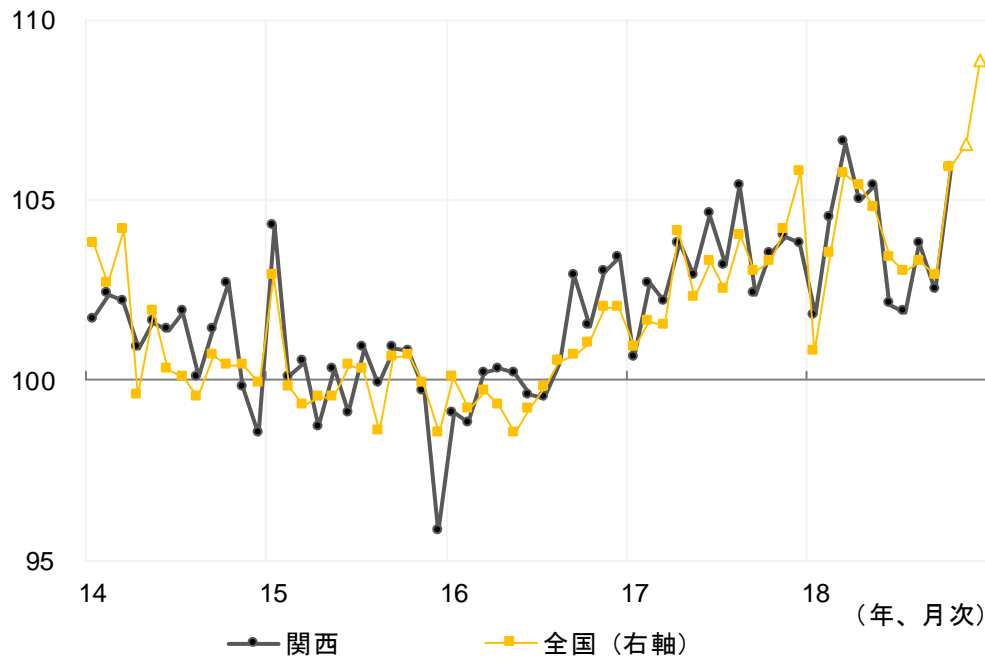
2. 生産～横ばい圏で推移している(先行き:緩やかに持ち直し)

■ 鉱工業生産指数

- 10月の関西の**鉱工業生産**は、前月比+3.9%と2ヶ月ぶりに増加した。鉄鋼・非鉄金属、化学(除・医薬品)、輸送機械などが増加した。近畿地区の生産は均して見ると横ばい圏で推移している。

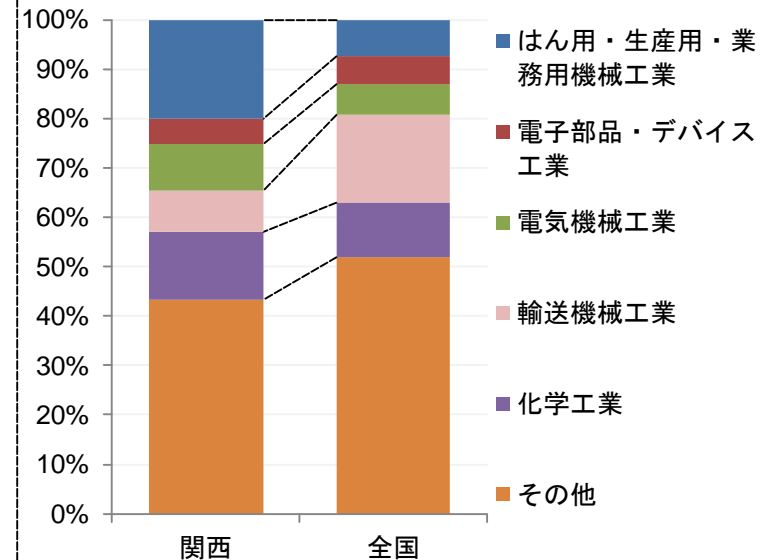
鉱工業生産指数(季節調整値)

(基準年=100)



(出所) 近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
 (注) 生産(全国)の「△」は製造工業生産予測調査結果に基づく予測

【参考】生産ウエイト(2015年基準)



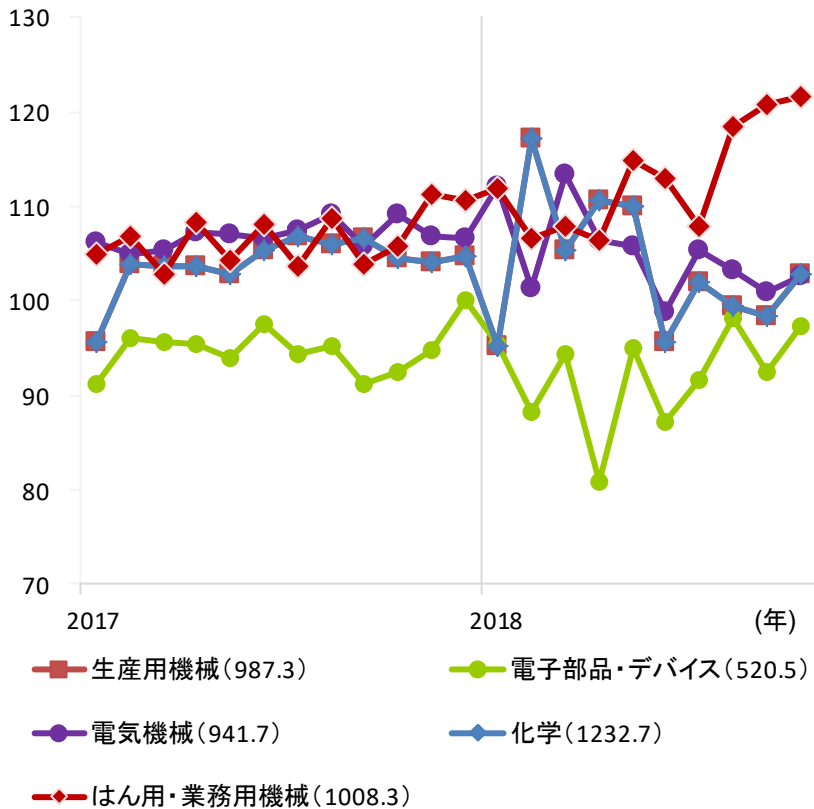
(出所) 経済産業省「鉱工業指数」

※関西は、全国に比べ輸送機械のウエイトが低く、はん用・生産用・業務用機械、化学、電機のウエイトが高い

2. 生産

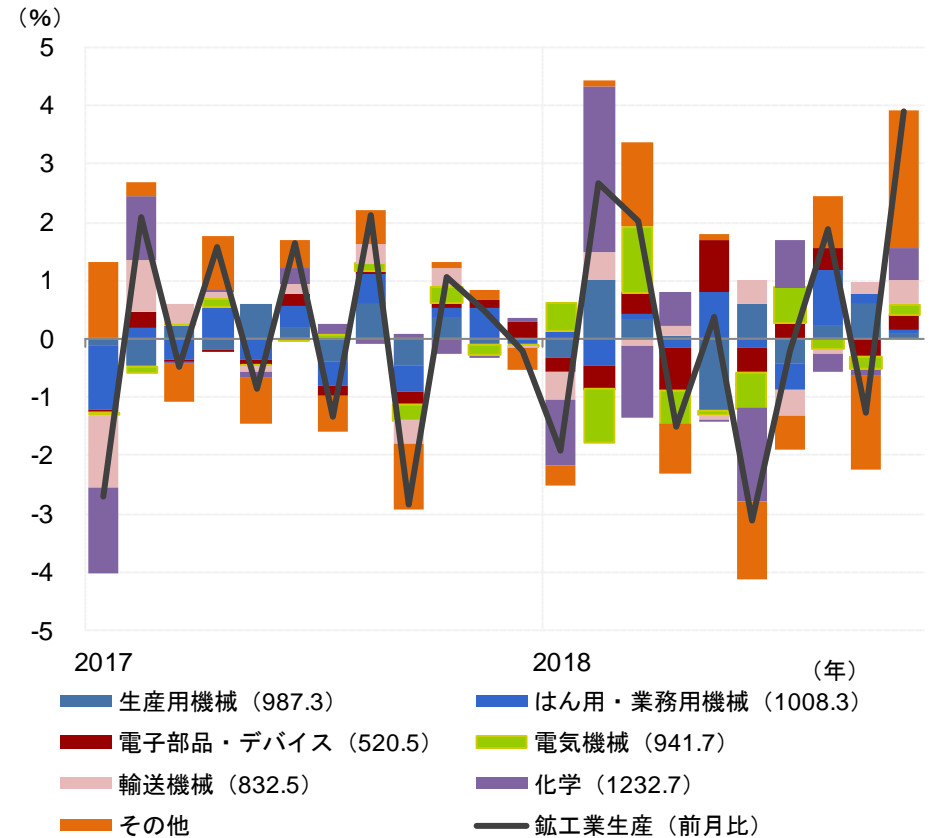
業種別生産

(2015年=100、季調値)



(出所) 近畿経済産業局「鉱工業生産動向」
 (注) 凡例の括弧内の数字は付加価値ウエイト(鉱工業=10,000)

鉱工業生産前月比と業種別寄与度



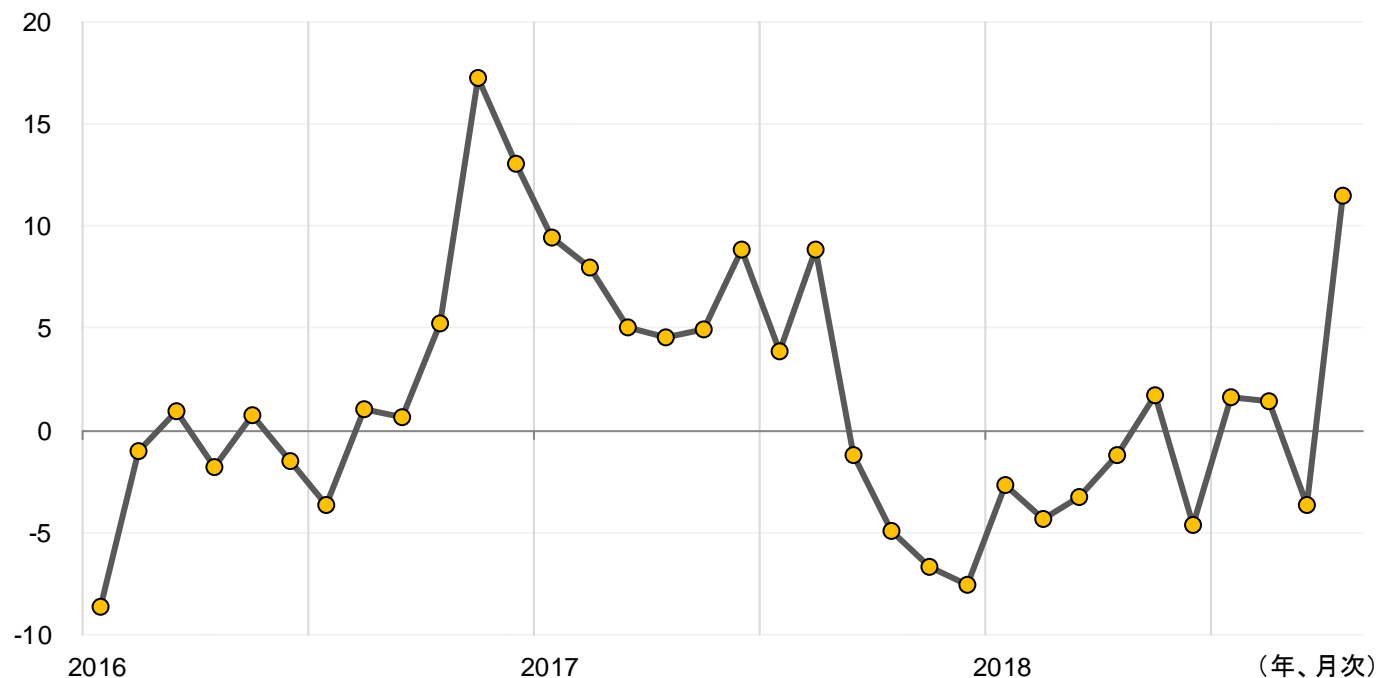
(出所) 近畿経済産業局「鉱工業生産動向」

2. 生産

■ 出荷在庫バランス

- 出荷の伸びから在庫の伸びを引いた出荷在庫バランス(出荷の伸び－在庫の伸び)は10月、出荷が前年比で増加した一方、在庫は減少し、約2年ぶりの高い伸びとなった。

(前年比、%ポイント)



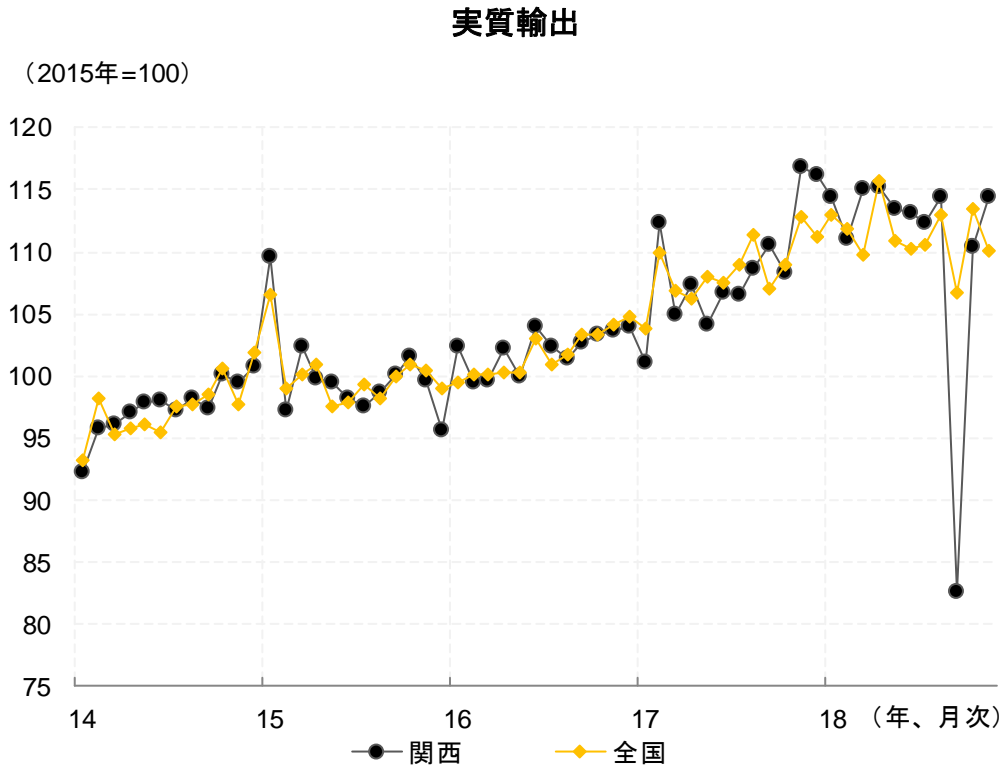
(出所) 近畿経済産業局「鉱工業生産動向」

(注) 出荷在庫バランス＝出荷の伸び－在庫の伸び

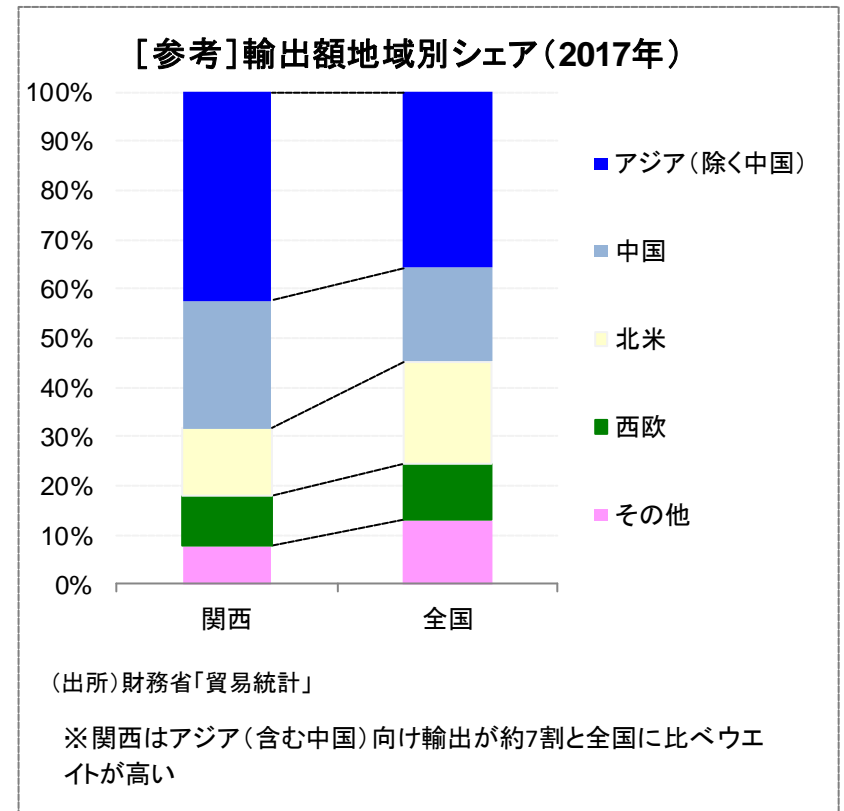
3. 輸出 ～横ばい(先行き:増加基調)

■ 実質輸出

- 11月の関西の実質輸出は前月比+3.6%と2ヶ月連続で増加した。均して見ると横ばいとなっている。



(出所) 日本銀行大阪支店「実質輸出入」

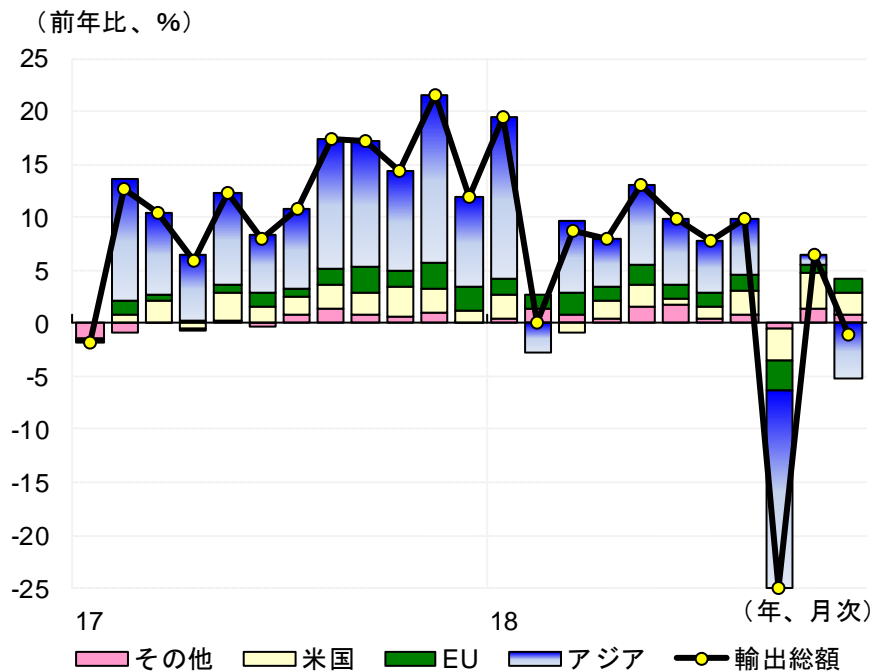


3. 輸出

■ 貿易統計: 名目輸出

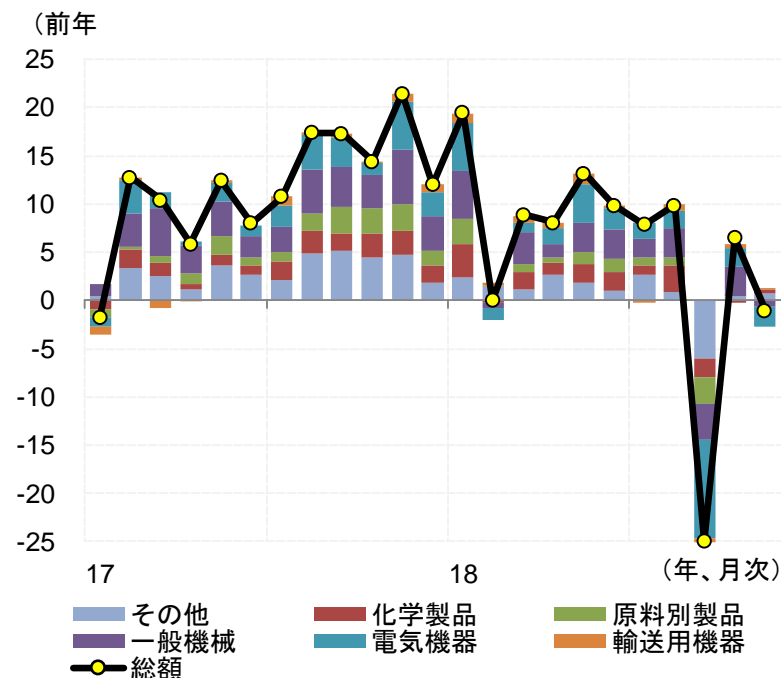
- 11月の名目輸出額は、前年比-1.0%と2ヶ月ぶりに減少した。地域別では、米国、EUで2ヶ月連続で増加したが、中国は3ヶ月連続、アジアは2ヶ月ぶりに減少した。品目別にみると、遊戯用具(同+147.7%)、無機化合物(同+62.7%)などが増加したが、通信機(同-50.9%)、科学光学機器(-22.1%)などが減少した。

名目輸出(地域別寄与度)



(出所) 大阪税関「近畿圏貿易概況」

名目輸出(品目別寄与度)

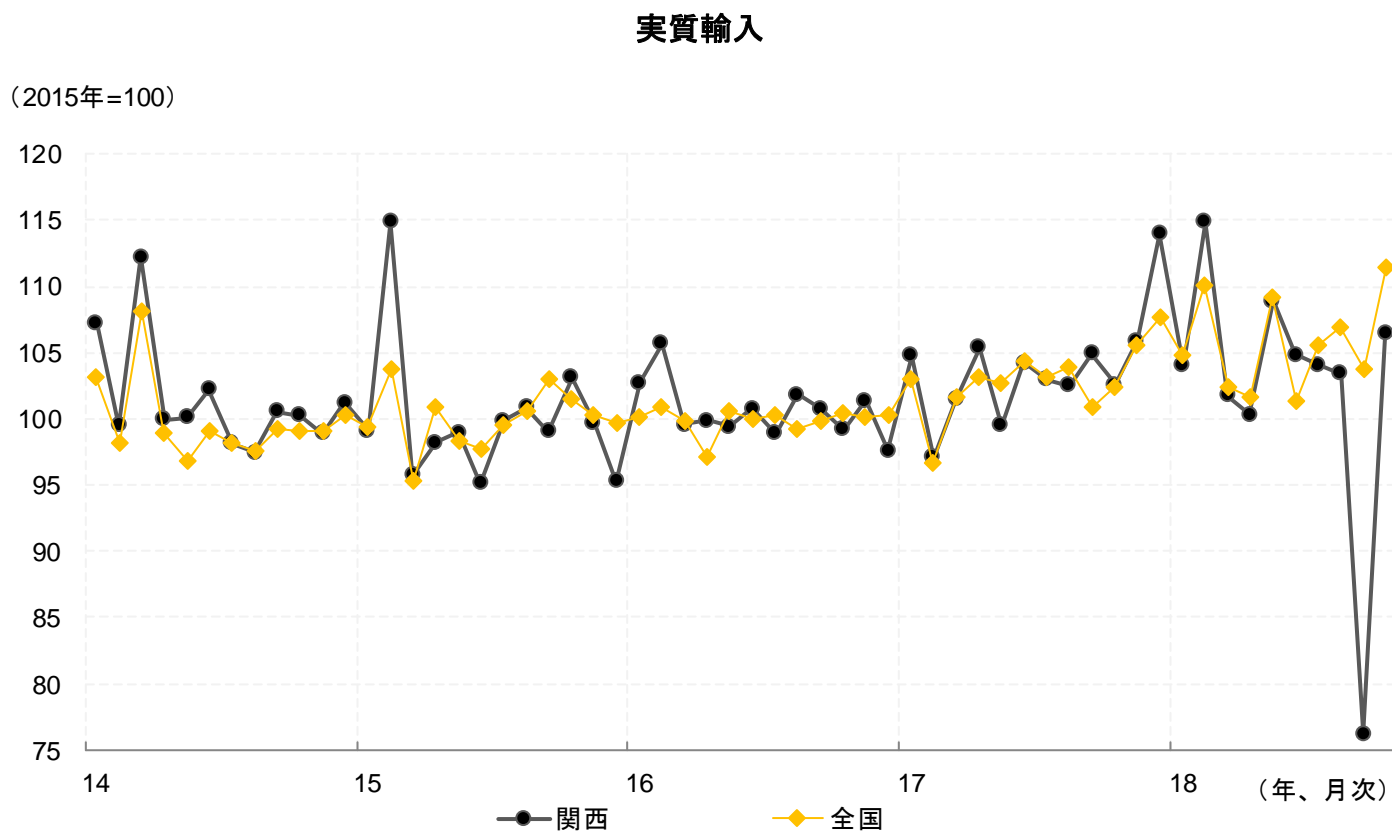


(出所) 大阪税関「近畿圏貿易概況」

4. 輸入 ～横ばい(先行き:横ばい)

■ 実質輸入

- 11月の関西の実質輸入は前月比+3.0%と2月連続で増加した。均して見ると横ばいとなっている。



5. 設備投資 ～増加している(先行き:増加)

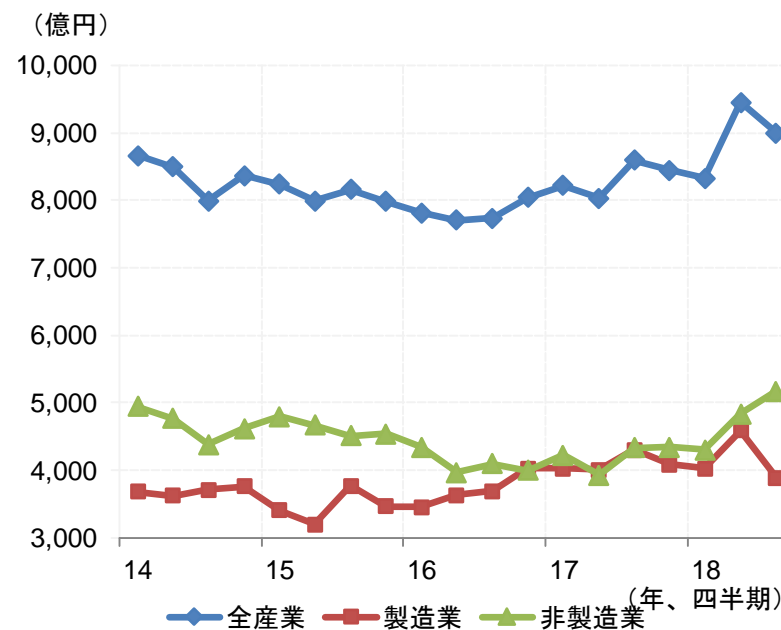
■ 法人企業統計

- 法人企業統計によると2018年7～9月期の関西の大企業の設備投資(ソフトウェアを含む)は前年同期比+4.3%と8四半期連続で増加した。季節調整値(MURC試算)の動きを見ると、製造業で足踏みとなっている。

設備投資の前年比伸び率(全産業、%)

	関西	全国
17年 7-9月	11.3	4.2
10-12月	5.3	4.3
18年 1-3月	0.9	3.4
4-6月	18.2	12.8
7-9月	4.3	4.5

設備投資(ソフトウェアを含む、季節調整値)



(出所) 財務省「法人企業統計調査」

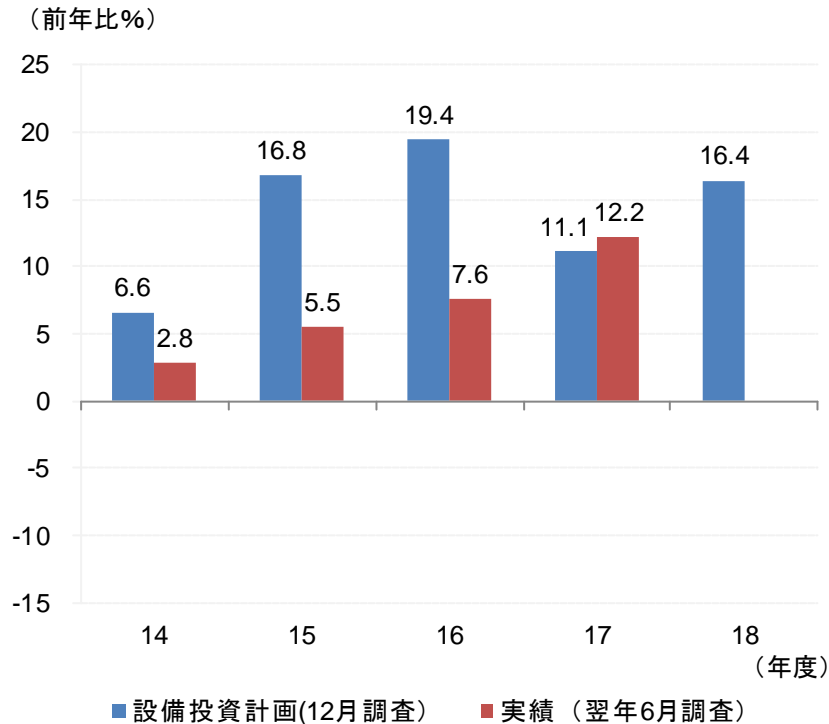
(注) 季調はMURC
(出所) 財務省「法人企業統計調査」

5. 設備投資

■ 日銀短観

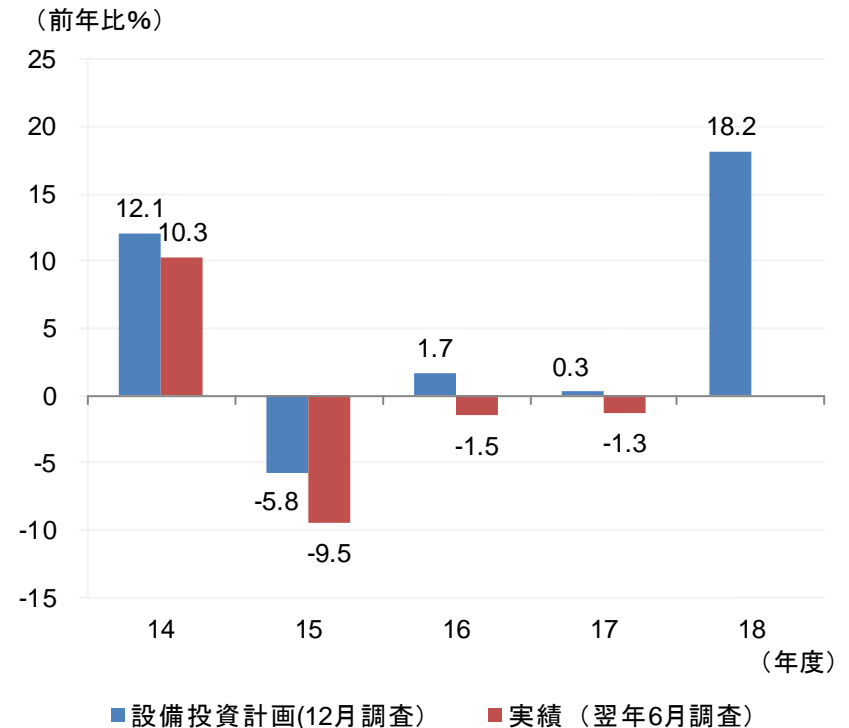
- 日銀短観12月調査によると、関西の18年度の設備投資計画は、全産業で前年比+17.4%(9月調査同+18.8%)と増加が見込まれている。業種別の内訳を見ると、製造業は同+16.4%(同+17.9%)、非製造業は同+18.2%(同+19.4%)と、非製造業が例年より強気の計画となっている。

設備投資計画と実績(製造業)



(出所) 日本銀行大阪支店「短観」
(注) 設備投資は含む土地投資額

設備投資計画と実績(非製造業)



(出所) 日本銀行大阪支店「短観」
(注) 設備投資は含む土地投資額

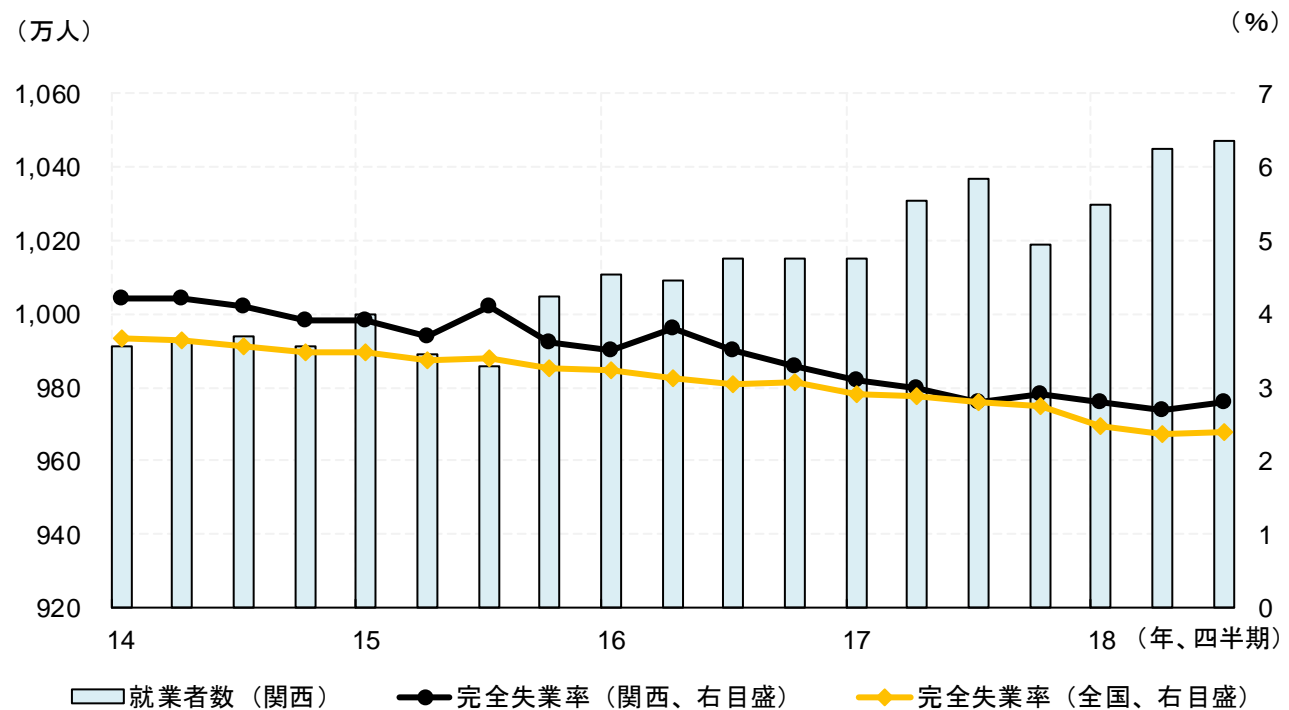
6. 雇用 ～改善している（先行き:改善）

（コメント、グラフ共に前号から変更なし）

■ 完全失業率

- 7-9月期の関西の完全失業率（季節調整値）は前期差+0.1%ポイントの2.8%となった。就業者数（季節調整値）は同10万人増加したが、完全失業者数（季節調整値）が同1万人増加した。

失業率と就業者数（季節調整値）



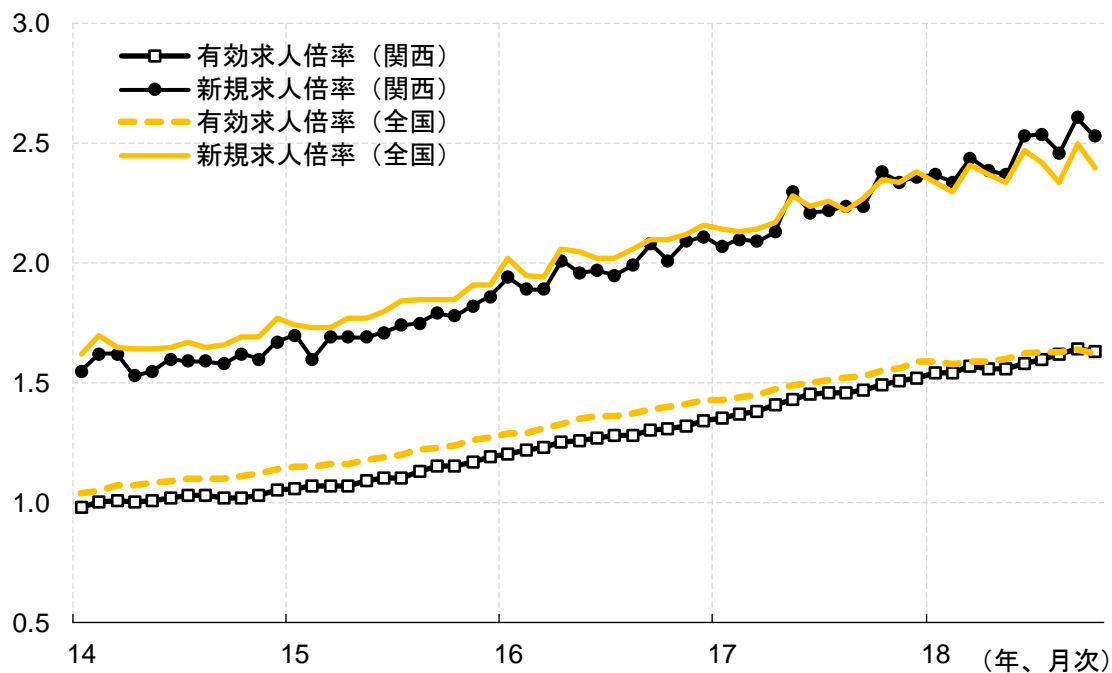
（出所）総務省「労働力調査」

6. 雇用

■ 有効求人倍率

- 10月の関西の**有効求人倍率**は1.63倍と小幅ながら6ヶ月ぶりに低下した。**有効求人数**は前月比+0.7%と増加したが、有効求職者数も同+1.5%と増加した。有効求人倍率に先行する**新規求人倍率**は2.53倍と2ヶ月ぶりに低下した。新規求人数は前月比+6.0%と増加したが、新規求職申込件数も同+9.3%と増加した。10月の求人倍率は低下したが、高水準が続いている。

有効求人倍率と新規求人倍率

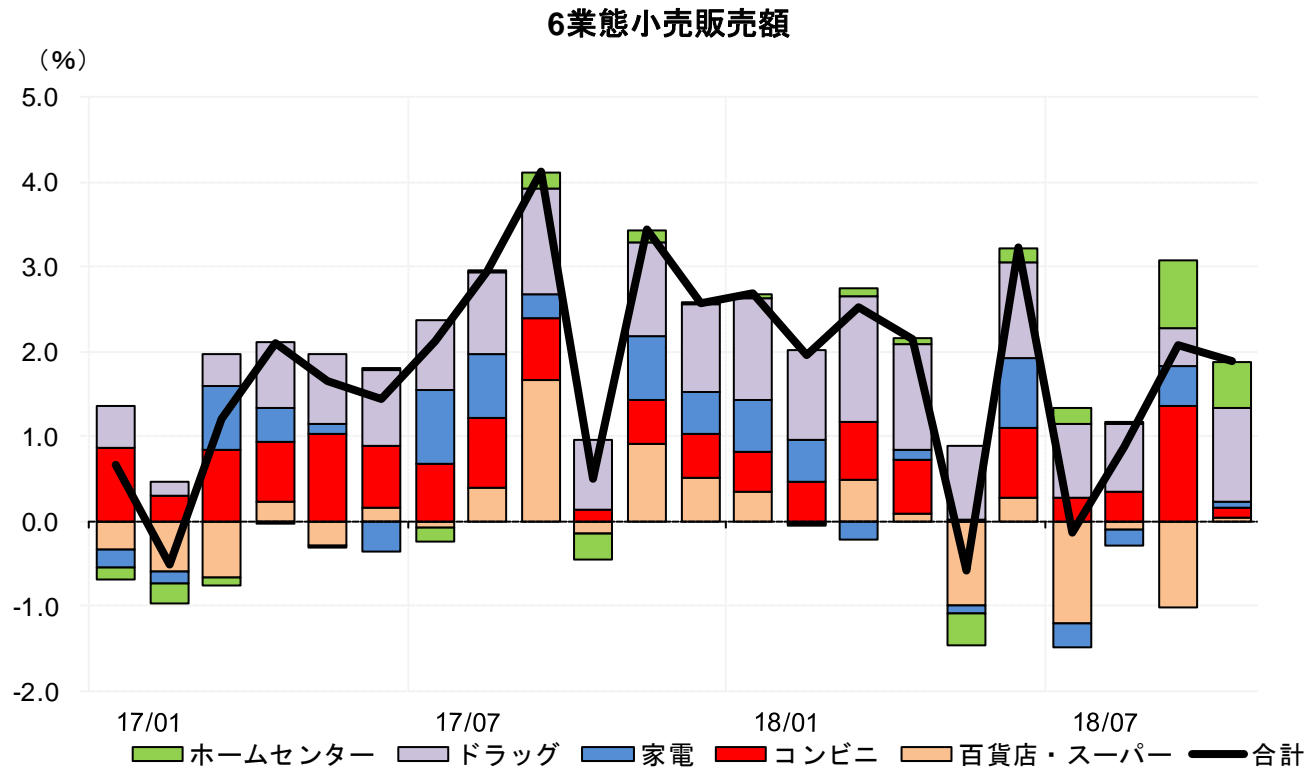


(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

8. 個人消費

■ 商業動態統計

- 10月の商業動態統計調査6業態の販売額の合計は、ドラッグストア、家電、ホームセンター、コンビニがプラスに寄与し、前年比+1.9%と3ヶ月連続で増加した。

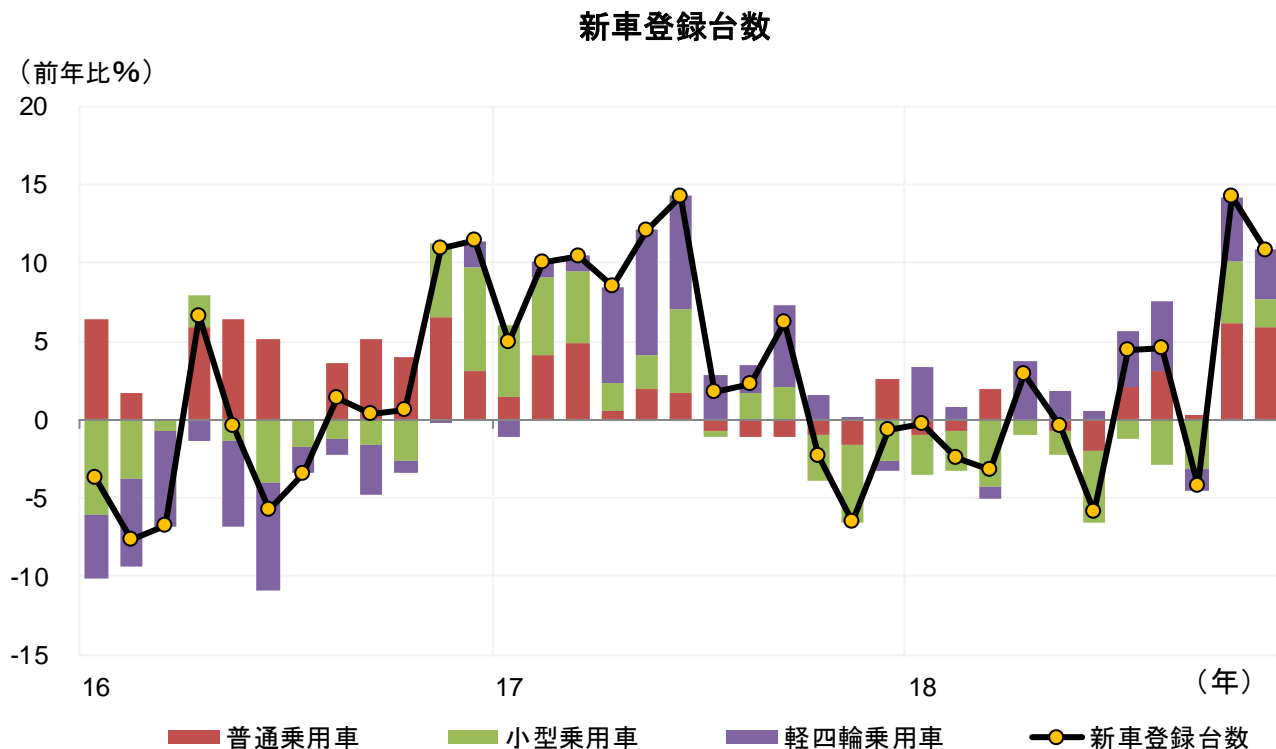


(出所) 経済産業省「商業動態統計」

8. 個人消費

■ 新車登録台数(乗用車、含む軽)

- 11月の関西の新車登録台数(乗用車、含む軽)は前年比+10.9%と2ヶ月連続で増加した。普通車(同+15.5%)は5ヶ月連続、小型車(同+5.8%)、軽自動車(同+10.0%)は2ヶ月連続で増加した。



(出所) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

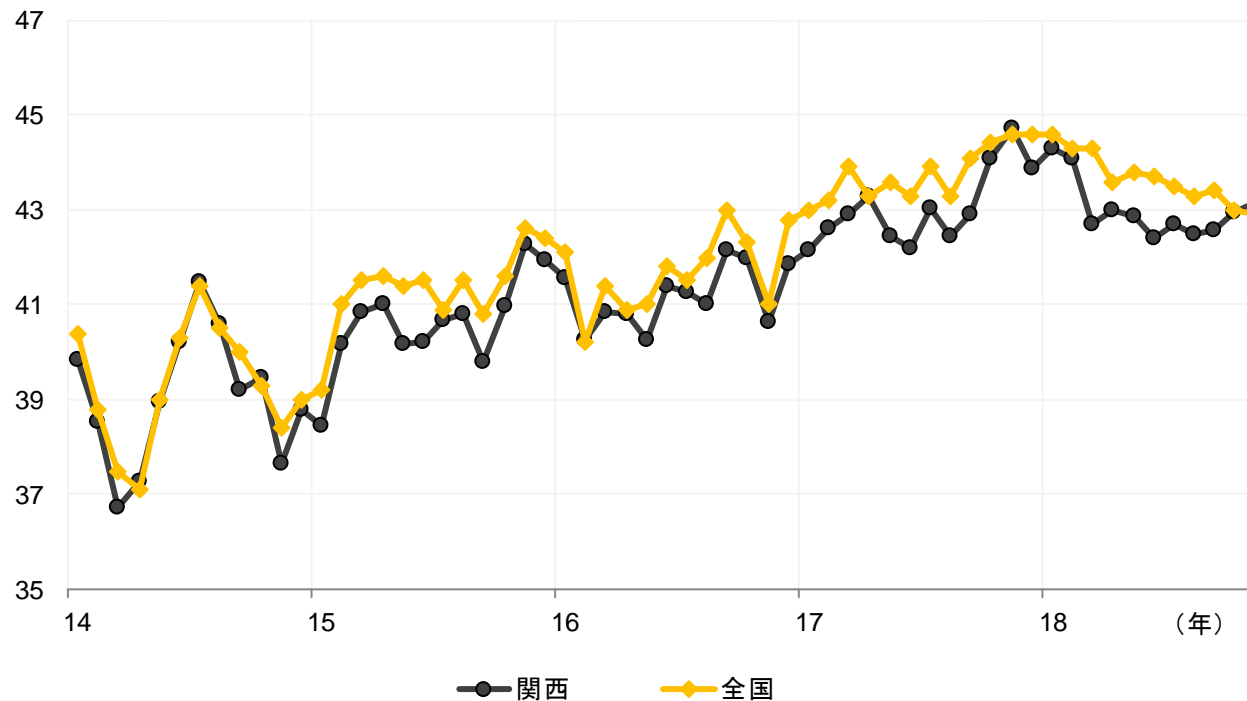
(注) 乗用車新規登録・届出台数は2府4県分、含む軽

8. 個人消費

■ 消費者態度指数

- 消費者マインドを表す消費者態度指数(季節調整値:MURC試算値)は、3月以降横ばいとなっている。

消費者態度指数(二人以上の世帯、季節調整値)

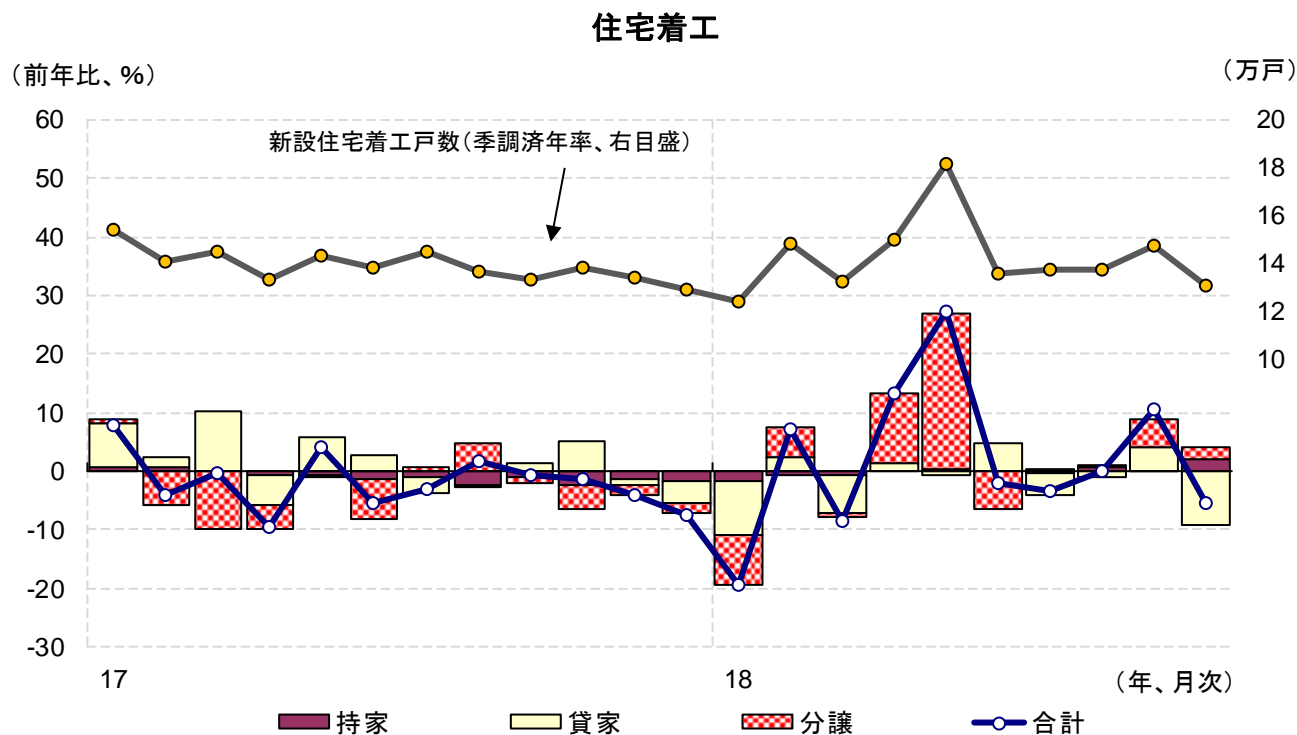


(出所) 内閣府「消費動向調査」
(注) 関西の季節調整値はMURCの試算値

9. 住宅投資 ～横ばい圏で推移している(先行き:横ばい)

■ 住宅着工

- 10月の関西の住宅着工戸数は、季調済年率(MURC試算)で13.1万戸と4ヶ月ぶりに減少したが、均してみると横ばい圏で推移している。また、原数値の前年比では-5.5%の11,496戸と2ヶ月ぶりに減少した。



(出所) 国土交通省「建築着工統計」
 (注) 新設住宅着工戸数の季節調整は当社にて実施

10. 公共投資 ～減少している（先行き:減少）

■ 公共工事請負額

- 11月の関西の公共工事請負額(年度累計額)は、前年比－2.8%と3ヶ月連続で減少した。



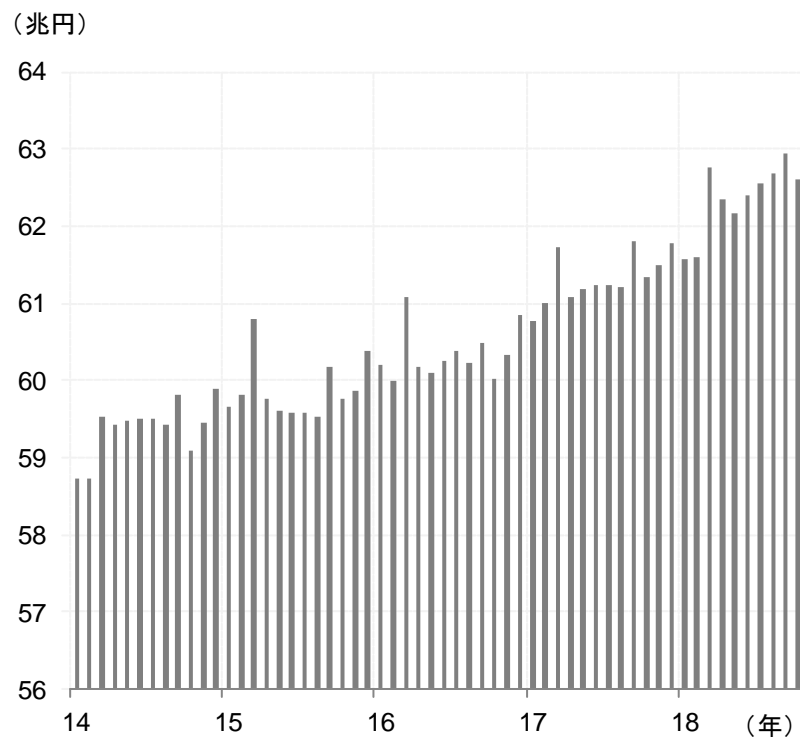
(出所) 北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)

11. 貸出 ～ 貸出は増加

■ 貸出残高

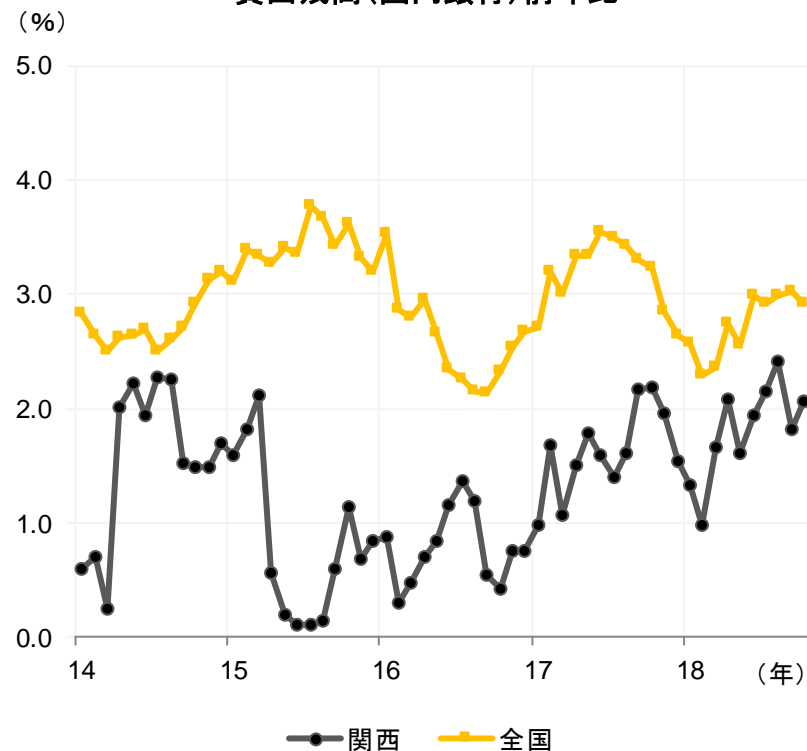
- 関西の10月の貸出残高(国内銀行ベース)は、同+2.1%の62.6兆円となった。日銀大阪支店では「企業向けや住宅ローンの増加などを背景に」貸出が増加しているとみている。

関西の貸出残高(国内銀行)



(出所) 日本銀行

貸出残高(国内銀行)前年比

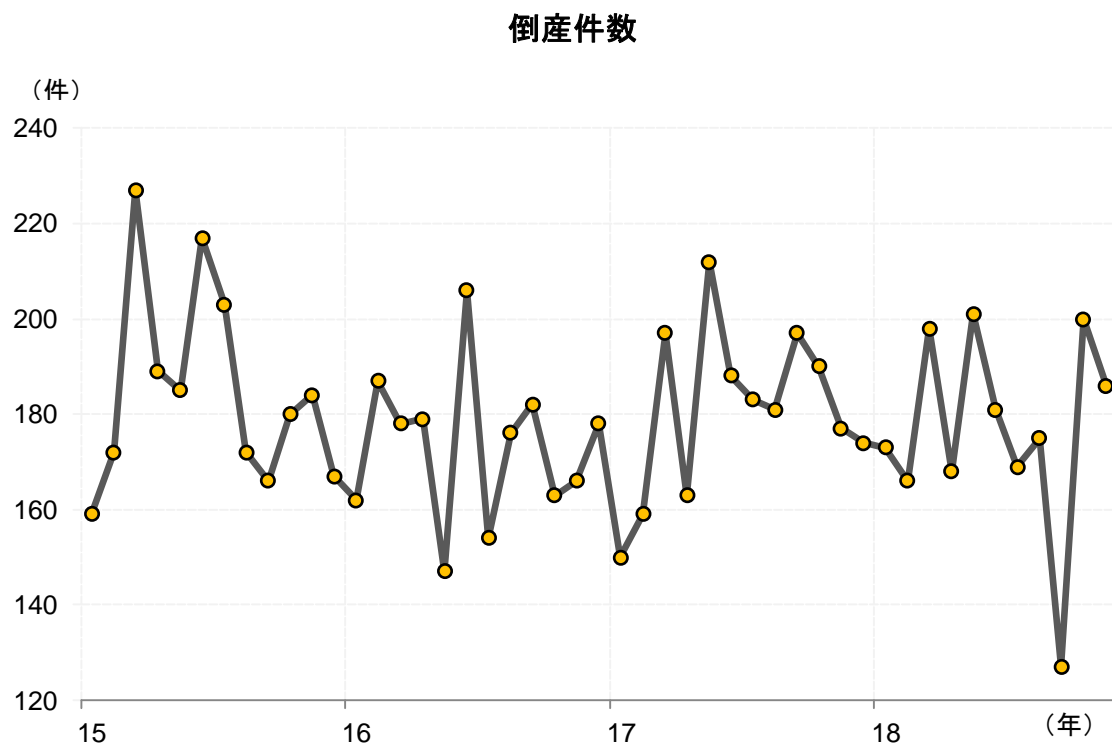


(出所) 日本銀行

12. 倒産 ～倒産件数は前年比で増加

■ 倒産件数

- 11月の関西の倒産件数は、前年比+5.1%の186件(前年同月177件)と2ヶ月連続で増加した。また、倒産企業の負債総額は同+35.9%の180億円と、2ヶ月連続で増加した。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください